



小さなカシ白熱



倉吉幼稚園「すもう大会」
思わず悔し涙も

「白熱した取組で汗を流す見物」
場ですもふ大会を行った。まわすうは小さなカシたちが保護者らの大声援を浴びながら熱い取組を展開した。50年以上続く園の伝統行事「力を出し切る大切な素子」は、丈夫な体づくりや土踏まの形成にも役立てている。
大会は、0歳から年長児の100人が土俵入り。年中児以上はトランプ方式で対戦し、横綱を目指して男女別に行われた。取組は、土俵に転がれて悔し涙を流す見物も、保護者や園児からはよき応援だった。「かっこよかった」と涙がい拍手が送られた。
年長児の部で横綱の座に輝いた衣笠健仁くん(5)は「朝も練習して、優勝してうれし」と満足げな様子。中野舞希ちゃん(5)は「相撲は面白くて好き。楽しかった」と笑顔を見せた。
(伊藤 雅彦)

6月7日付日本海新聞です。当日は園長も目を見張る取り組みの連続でした。この日に懸ける子どもたちの気持ちがひしひしと伝わる取り組みに、日々の遊びを通しての活動の重さと、嬉しい、楽しい、悲しい、悔しい、我慢の気持ちを体験しながら成長していく事の意味に改めて思いを馳せる行事になりました。

【6月の幼稚園】

- 06/6 (木) 歯科指導…倉吉市の歯科衛生士さんにおいでいただき、ブラッシングのご指導をいただきました。ブラッシング後の染め出しで自分の歯磨きを確認しました。
- 06/11 (火) プールびらき…快晴の好天に恵まれ、プールの神様に安全祈願をした後、学年ごとに入水となりました。この日以降、プール遊び・水遊びに子どもらの歓声が絶えない園庭になっています。
- 06/12 (水) 年長児田植え…下田中町アグリサポートの皆さんにお世話になりながらの田植えでした。泥田に足をすくわれながらも、次第にコツをつかんでいく子どもらの姿に学び取る力の大きさを感じとることができました。泥んこプールにも大きな歓声が上がりました。
- 06/19 (水) S I あそび参観日・生活参観日…「自ら気付き、自ら考える子」の育成を目指し、3歳以上児が毎週1教材のペースで取り組むあそびを紹介させていただきました。参観後の白濱先生のご講演の中には、子育てのヒントがいっぱいでした。
- 06/20 (木) 年長児サッカーあそび…この日から FC カミノのコーチの指導による遊びが始まりました。今後、毎月開催予定です。

【6月ギャラリー】



0歳 リズムあそび 1歳 サーキット 2歳 知的的好奇心



年少 プール遊び 年中 エアガムの卵 年長 田植え

【7月の幼稚園】

- ◆7/1～個人懇談…この日から、数日に分けて個人懇談を行います。一学期の園でのお子様の様子を共有すると共に、ご家庭でのお子様の様子をお聞かせください。6/19 付けで文書を配布しています。
- ◆7/5(金)七夕まつり…今年もみんなの願い事を書いた七夕飾りを園庭に立てます。職員の出し物など楽しい企画がいっぱいです。
- ◆7/19・20(金・土)年長児お泊り保育…1学期の締めくくりとなる活動です。今年初めて倉吉スポーツセンターを活用しての実施です。親元を離れお友だちと力を合わせて生活を創ります。
- ◆7/31(水)第1学期終業式…この儀式は前日に前倒し実施します。楽しいこといっぱいだった1学期を納め、2学期の楽しい生活への期待を高めます。
- ◆7/31(水)第14回自主公開研究発表会…
テーマ:「乳幼児期から始まる生きる力の根っこ育て」
～“土踏まずと下あごの形成”を目指して～
倉吉幼稚園では平成20年度に文部科学省教育改革推進モデル事業補助金を活用し、予てから危惧を覚えていた「子どもの姿勢保持力の脆弱さ」の解消をねらい「専門家とのネットワークの活用による乳幼児期の四肢調整力の獲得とそこから広がる言葉と心の育ちを願った取り組み」として上記の研究主題でスタートしました。
それから十有余年、コロナ禍の2年間を除き、毎年の研究発表会の開催と共に園生活の中での実践、記録の蓄積と考察、外部への発信を重ねてきました。
第14回目となる今年も、保護者の皆様にもお子様の姿と共に実践発表と日本教育シューズ協議会早川家正理事長による講演会までご参観いただくこととしています。希望者には、午後のシンポジウムもご案内しますので、皆様のご参加お待ちしております。

【お知らせ】

今年も「0歳から15歳までの育ちを見つめる」研究テーマでの取り組みが始まっています。その一環として、もも組(2歳児)副担任の林友里保育教諭が、6/24～7/5の10日間、打吹小学校1年生クラスで派遣研修を行います。